

令和4年度 実践的放射線治療人材育成セミナー Python講習会・初級編 を開催しました！

令和4年7月16日(土)にZoomウェビナーにて、6回目となるPython (パイソン) 講習会を開催し、全国から合計227名の方々にご参加いただきました。Zoomウェビナーによるプログラミング講習会の実施は3回目となり、数年前と比べて、受講者の皆さんがウェブ開催の講習会に抵抗なく参加できるようになっていると感じています。

まず、HIPRAC永田センター長の挨拶に始まり、小澤医学物理士長の「HIPRACの活動紹介」を行いました。その後、Pythonを使用してWebサービスを開発された経験のある西本 卓也先生より「Python を学ぼう Python コミュニティに参加してみよう」についての講演が行われました。ブラウザを使用してプログラム開発を行う環境 (Jupyter Lab)は、Google Colaboratoryにも使用されており、技術の背景が分かれば共通のノウハウが役立つため、効率よく習得ができることを学びました。



『西本 卓也先生』

Jupyter (iPython) の機能

- Google Colab =クラウド・オープンソースソフトウェア(OSS)
- OSS の解説書のノウハウが役立つ
- 変化は速い

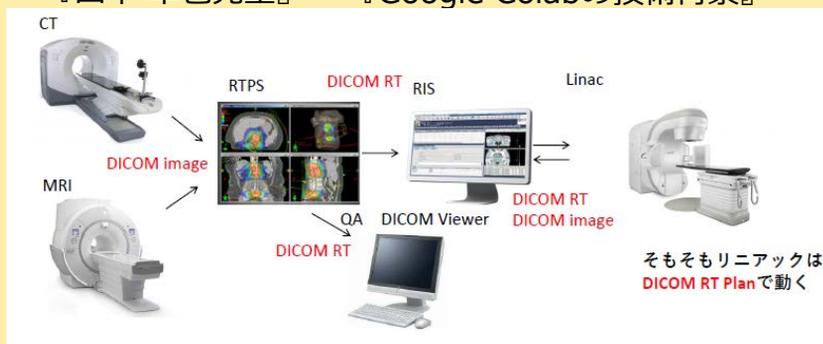


『Google Colabの技術背景』

Pythonコミュニティ

- 公式になるべく近いソフトウェア・情報
 - python.org / python.jp
 - 活用したいという気持ち支援の始まり
 - 便利なサービスもOSSの成果であることが多い
 - 多くのボランティアが開発や翻訳に関わっている
- 参加方法
 - PyCon JP などのカンファレンス
 - 地域コミュニティや分野別コミュニティ
 - チャットサービス: SlackやDiscordなど
 - すこい広島 with Python (毎月最終水曜19時~)

『Pythonコミュニティ』



『装置間の通信の基本はDICOM』



『ZOOM講習会の様子』

Pythonプログラミングの実習では、HIPRACの医学物理士・診療放射線技師（中尾、早田、松浦、三浦）から臨床で役立つPythonプログラミングについて、完全オンライン実習が行われました。参加者の皆様からは「Pythonのモジュールの豊富さを改めて知ることができ、とても有意義だった」、「DICOMを取り扱うプログラミングの実演がとても参考になった」等、ご好評をいただきました。HIPRACでは、今後も皆様から頂戴したご意見を参考にしながら、時代にマッチした方法で、放射線治療に携わる医療人材の育成に努めて参ります。これからも各種人材育成セミナーに是非ご参加下さい。



HIPRAC
Hiroshima High-Precision Radiotherapy Cancer Center
広島がん高精度放射線治療センター

©HIPRACに関する質問（診療・受診方法など）は、こちらへお問い合わせください。

mail: office@hiprac.jp

HP: <https://hiprac.jp/>

Tel: 082-263-1330 / Fax: 082-263-1331